

平成 17 年第 2 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 省エネルギービジョンの策定について

初めに、省エネルギービジョンの策定についてであります。 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、省エネルギーへの取り組みについて検討を行ってまいりました。このたび、新エネルギー・産業技術総合開発機構から、省エネルギービジョン策定に要する費用への補助内定を得たことから、市民生活や事業活動に伴うエネルギーの有効利用、省エネルギーに対する役割分担などを盛り込んだ計画を策定してまいりたいと考えております。

なお、今定例会に所要経費等の補正予算を提出させていただいたところであります。

2 ケアハウスの整備について

次に、北海道と協議を進めていたケアハウスの整備についてであります。国から施設整備に係る交付金の内定を得たことから、事業主体となる社会福祉法人慈光園では、今年度内に施設整備を行い、平成 18 年度からの開設を目指し、準備を進めているところであります。

施設は、鉄筋コンクリート造り 3 階建て、延べ床面積 2,800 平方メートルで、入所定員は 50 人であります。

なお、建設地は輪厚 512 番地に予定されております。

これにより、高齢者が安心して暮らせる福祉の充実はもとより、地域経済や雇用機会の創出にも寄与するものと考えております。このことから社会福祉法人の助成に関する条例に基づき、整備費の一部を助成するため、今定例会に補正予算を提出させていただいたところであります。

3 石狩川水系千歳川河川整備計画の決定について

次に、千歳川の治水対策についてであります。北海道開発局は、具体的な河川の整備内容を定めるために必要な手続きをすべて終え、4 月 12 日に、石狩川水系千歳川河川整備計画を決

定したところであります。

計画の柱となっております遊水地の設置につきましては、広大な面積が必要とされており、その候補となる流域の用地の多くが農用地であることから、本市や他の市町においても、地域の農業施策や土地利用計画等も含め、様々な調整を要するものであります。

新たな治水対策を進めていくうえで、事業への理解と地域の合意形成が必要であり、今後も流域 4 市 2 町での連携を図り、北海道開発局をはじめ、関係機関とも十分調整を行いながら、事業の促進に向け、取り組んでまいりたいと考えております。

4 株式会社コクドの事業再編について

次に、株式会社コクドの事業再編についてであります。西武グループ経営改革委員会からの最終答申では、市内の札幌北広島プリンスホテル、ファミリースキー場、ゴルフ場の 3 施設の売却・撤退の検討が示されております。

これらの施設は、観光振興、地域経済や雇用機会の確保などに大きな役割を果たしております。このことから、5 月 20 日、株式会社コクド本社を訪問し、北海道や施設がある道内の関係自治体と連名で、今後、施設に係る事業再編の検討に当たり、施設を存続し、観光をはじめとする地域経済や雇用などに最大限の配慮をいただくよう、要望してまいりました。

5 道央農業振興公社について

次に、本市と江別・千歳・恵庭市及び道央・千歳開拓農業協同組合で設立に向け、準備を進めていた財団法人道央農業振興公社についてであります。北海道から設立の許可を受け、6 月 1 日から業務を開始しております。

これにより、地域農業の担い手育成、農地の利用調整、労働力の確保や農業機械の効率化支援などを通して、地域の農業振興に大きく貢献するものと考えております。

以上、申し上げ、行政報告といたします。